

【令和2年度学校評価の実施について】

(1)自己評価結果表

評価の領域	具体的評価項目	評点	評価	成果と課題
学校運営	全職員が協力して、指導に当たれるような指導体制の充実が図られている。	60.3	B	教職員の適性に応じた、人事配置の構築が課題
	他の学校にない、特徴のある独自の教育活動に取り組んでいる。	82.0	A	附属の特色を生かした看護・保育・福祉を中心とした教育が充実
	プライバシー保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理体制が確立されている。	66.4	B	タブレット導入によるペーパーレス化を目指しており評価できる
教育課程・学習指導	学習指導要領や学校の教育目標を踏まえて、教育課程が編成され、教職員間で共有されている。	60.7	B	教育目標の教職員間の共有と伝達のスピード感が必要
	教育課程は生徒の実態に応じた編成がなされ、学習意欲の向上や教育効果に役だっている。	63.1	B	保護者評価は高く評価できるが、生徒の学習意欲持続が課題
	教科指導の体制が整っており、一貫した指導ができるようになっている。	64.8	B	コースの特徴を活かした指導ができ、概ね良好であった
	習熟度の低い生徒に対する学習指導について、十分配慮されている。	73.9	B	基礎学力向上を目指した朝学等の取組みは評価できる
教育目標	学校や生徒の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育目標を策定している。	55.4	C	コロナの影響で独自の教育目標策定が困難であった
進路指導	生徒の能力・適正・希望を把握した上での進路指導を、学校全体で取り組んでいる。	80.3	A	コロナ禍でも個別面談等で、適性を生かした進路指導ができた
	大学や企業の迅速かつ適切な情報提供が行われ、進路実現に導く体制が整っている。	78.2	B	コロナ禍で情報が少なかったが、スピード感を持って指導できた
	適切な勤労観・職業観など、生徒が主体的に進路を選択する能力を育成するための指導が行われている。	72.4	B	進路ガイダンス等により、適正な指導ができた
生徒指導	生徒理解を深め、全教職員の共通理解と協力の下、きめ細やかな生活指導が行われている。	80.9	A	挨拶の徹底等きめ細やかな指導ができています
	生徒の問題行動の状況を教職員が共有し、適切に対処できている。	62.5	B	適切に対処できているが、教職員間の情報共有の方法が課題
	生徒指導の方針について、生徒・保護者の理解が得られている。	69.9	B	指導方針に対する保護者の理解は十分得た
健康安全指導	生徒の健康管理のための体制が整備され、保健指導・相談が適切に実施されている。	81.3	A	体制が整備されており、適切な保健指導・相談が実施された
	学校内や通学路などの安全点検や、生徒の安全対応能力の向上への取り組みが、定期的に行われている。	62.7	B	生徒の安全対応能力向上への取組みは概ね良好であった
	非常災害時に備えた避難訓練等の安全指導及び緊急連絡体制が整備されている。	58.0	C	体制は整っているが、コロナ禍で実際の訓練ができなかった
特別活動教育	部活動・ボランティア活動などが、適切な管理体制の下で積極的に実施されている。	75.1	B	コロナの影響で、県の方針に従い積極的活動はできなかった
	部活動・ボランティア活動などへの参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導が行われている。	72.0	B	コロナの影響で、県の方針に従い積極的活動はできなかった
学校行事	学校行事が適切な管理体制の下、それぞれの行事の目的に基づいて実施されている。	55.6	C	コロナの影響で予定通り実施できなかった
	学校行事は生徒が楽しく、積極的に参加できるよう企画・運営されている。	58.2	C	コロナの影響で予定通り実施できなかった
	学校行事の計画が保護者や地域住民に対し、周知徹底されている。	38.4	D	コロナの影響で行事自体がほぼなく周知どころではなかった
研修・研究	教職員が積極的に校内・校外の研修に参加している。	35.8	D	コロナの影響で研修自体がほぼ中止または延期となった
	研修・研究の結果が、生徒への指導に役だっている。	68.7	B	自己研鑽の時間が多くあったため、コロナ後の指導に期待する
情報公開	保護者や地域住民等へ学校通信やホームページなどを活用して、積極的に情報の発信を行っている。	84.6	A	コロナ関連の情報発信がHPやメールで確実にできた
保護者、地域との連携	学習活動や学校行事を通して、保護者・地域との交流ができています。	55.3	C	学校行事自体が少なく、地域との交流はほぼできなかった
施設・設備	中・長期計画に基づき、施設・設備の年間整備計画が策定されている。	68.6	B	ネット環境等、ICT化に関する投資が十分にできた
	施設・設備が適切に管理活用されている。	72.7	B	施設の有効活用ができていますが、老朽化による修繕が課題

※評価は評点(100点満点)により A…十分達成している(80点～100点) B…概ね達成している(60点～80点) C…どちらかという達成されていない(40点～60点) D…ほとんど達成されていない(40点以下) で評価した。

※評点は生徒・保護者・教職員へのアンケート結果を踏まえて、自己評価し、100点満点に換算したものの。

○アンケートは4択(5点・4点・2点・1点)としている為、評価が低くなる傾向があるものの、100点換算すると殆どの項目が50点以上であり、まず肯定的な評価と受け止める。

○本年度も生徒・保護者の評価は高く、本校に対して理解があると考えられる。逆に教職員の評価は若干低くなっているが、各項目の目標値が高い為と考える。

○コロナウィルス感染症の影響で、教育活動が制限され評価が低い(評価出来ない)項目があった

(2)自己評価前年度対比表

評価の領域	具体的評価項目	R1評点	R2評点	増減	R1評価	R2評価	比較
学校運営	全職員が協力して、指導に当たられるような指導体制の充実が図られている。	60.8	60.3	▲ 0.5	B	B	↓
	他の学校にない、特徴のある独自の教育活動に取り組んでいる。	80.4	82.0	1.6	A	A	↑
	プライバシー保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理体制が確立されている。	62.2	66.4	4.2	B	B	↑
教育課程・学習指導	学習指導要領や学校の教育目標を踏まえて、教育課程が編成され、教職員間で共有されている。	60.8	60.7	▲ 0.1	B	B	↓
	教育課程は生徒の実態に応じた編成がなされ、学習意欲の向上や教育効果に役だっている。	62.5	63.1	0.6	B	B	↑
	教科指導の体制が整っており、一貫した指導ができるようになっている。	68.0	64.8	▲ 3.2	B	B	↓
	習熟度の低い生徒に対する学習指導について、十分配慮されている。	72.4	73.9	1.5	B	B	↑
教育目標	学校や生徒の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育目標を策定している。	59.8	55.4	▲ 4.4	C	C	↓
進路指導	生徒の能力・適正・希望を把握した上での進路指導を、学校全体で取り組んでいる。	78.7	80.3	1.6	B	A	↑
	大学や企業の迅速かつ適切な情報提供が行われ、進路実現に導く体制が整っている。	81.3	78.2	▲ 3.1	A	B	↓
	適切な勤労観・職業観など、生徒が主体的に進路を選択する能力を育成するための指導が行われている。	72.4	72.4	0.0	B	B	→
生徒指導	生徒理解を深め、全教職員の共通理解と協力の下、きめ細やかな生活指導が行われている。	70.9	80.9	10.0	B	A	↑
	生徒の問題行動の状況を教職員が共有し、適切に対処できている。	65.8	62.5	▲ 3.3	B	B	↓
	生徒指導の方針について、生徒・保護者の理解が得られている。	72.5	69.9	▲ 2.6	B	B	↓
健康安全指導	生徒の保健管理のための体制が整備され、保健指導・相談が適切に実施されている。	80.0	81.3	1.3	A	A	↑
	学校内や通学路などの安全点検や、生徒の安全対応能力の向上への取り組みが、定期的に行われている。	61.2	62.7	1.5	B	B	↑
	非常災害時に備えた避難訓練等の安全指導及び緊急連絡体制が整備されている。	64.2	58.0	▲ 6.2	B	C	↓
特別活動教育	部活動・ボランティア活動などが、適切な管理体制の下で積極的に実施されている。	80.0	75.1	▲ 4.9	A	B	↓
	部活動・ボランティア活動などへの参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導が行われている。	82.6	72.0	▲ 10.6	A	B	↓
学校行事	学校行事が適切な管理体制の下、それぞれの行事の目的に基づいて実施されている。	81.8	55.6	▲ 26.2	A	C	↓
	学校行事は生徒が楽しく、積極的に参加できるよう企画・運営されている。	79.8	58.2	▲ 21.6	B	C	↓
	学校行事の計画が保護者や地域住民に対し、周知徹底されている。	66.6	38.4	▲ 28.2	B	D	↓
研修・研究	教職員が積極的に校内・校外の研修に参加している。	58.0	35.8	▲ 22.2	C	D	↓
	研修・研究の結果が、生徒への指導に役だっている。	63.3	68.7	5.4	B	B	↑
情報公開	保護者や地域住民等へ学校通信やホームページなどを活用して、積極的に情報の発信を行っている。	77.0	84.6	7.6	B	A	↑
保護者、地域との連携	学習活動や学校行事を通して、保護者・地域との交流ができている。	60.2	55.3	▲ 4.9	B	C	↓
施設・設備	中・長期計画に基づき、施設・設備の年間整備計画が策定されている。	58.8	68.6	9.8	C	B	↑
	施設・設備が適切に管理活用されている。	71.4	72.7	1.3	B	B	↑

※評価は評点(100点満点)より A…十分達成している(80点～100点) B…概ね達成している(60点～80点) C…どちらかという達成されていない(40点～60点) D…ほとんど達成されていない(40点以下) で評価する。
69.8 66.4

※評点は生徒・保護者・教職員へのアンケート結果を踏まえて、自己評価し、100点満点に換算したものの。

○本年度の評点は、前年度平均評点69.8点に対し66.4点と3.4ポイント悪化したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により行事等の一部の教育活動ができなかったのが大きな理由で、悪化というよりも評価できない項目が多かったためであり、総合的に見て問題ないとする。

○「評価の領域」によっては、若干悪化しているものもあるが、急激な悪化ではなく問題ないとする。

(3) 学校関係者評価結果表

評価の領域	評価項目	評点	評価	評価・提言等
教育課程	生徒の進路指導に対応できるよう、適切に教育課程の編成がなされている。	72	B	保護者の評価が高く評価できる
	教育目標を踏まえた教育課程で、考え方は教職員で共有されている。	70	B	概ね問題ないと思われるが、教職員間の共有が課題である
学習指導	学習指導は充実しており、生徒の学力向上に成果を上げている。	75	B	様々な取り組みで、成果は上がっていると思われる
	授業は生徒にわかりやすく、工夫されている。	70	B	習熟度の低い生徒に対しての配慮もあり、評価はできる
進路指導	充実した進路指導で、進路実現に向けた体制が整っている。	84	A	進学率が年々高くなっており、十分評価できる
	必要な情報が迅速に収集され、生徒・保護者に提供されている。	71	B	HP・メール等による迅速な情報収集及び提供が来ている
生徒指導	充実した生徒指導で、規範意識と自律性の育成に寄与している。	82	A	充実した指導ができています。特に挨拶の徹底は評価できる
	挨拶・言葉づかいなど日常マナーの生活指導がきちんと行われている。	82	A	学校内外での挨拶は徹底されており、生活指導が十分できている
特別活動	部活動等で、協調性や社会性を養う十分な指導が行われている。	78	B	コロナ禍で活動は制限されるが、工夫を凝らした活動は評価できる
	学校行事は充実しており、生徒が楽しく参加できるよう計画されている。	38	D	コロナ禍で実施がほぼできていないが、仕方がない
保健管理	生徒の健康の保持増進に関する指導を、学校全体で取り組んでいる。	70	B	保健管理の運営・指導が概ねできていると思われる
安全管理	非常災害時や登下校時の、安全指導が十分なされている。	68	B	非常時等での近隣地域との連携を更に充実して欲しい
情報開示	ホームページを通して、タイムリーな情報の発信を行っている。	80	A	HPは充実しており、情報の発信はまずできている
施設・設備	施設・設備は充実しており、教育活動に生かされている。	84	A	ICT化がすばらしく評価できる
	施設・設備は事故防止に配慮し、定期的に保守点検を行っている。	64	B	法定点検だけではなく、日頃からの自主点検が必要

※評価は評点(100点満点)により A…十分達成している(80点～100点) B…概ね達成している(60点～80点) C…どちらかという達成されていない(40点～60点) D…ほとんど達成されていない(40点以下) で評価した。

※評点は学校関係者評価委員会(自治会長・同窓会長・同窓会役員・本校卒業生・郵便局長・地元企業社長・地元商店主)による自己評価結果表に対する分析・評価と学校関係者評価へのアンケート調査の結果も踏まえて100点満点に換算したものの。

※本年度は、新型コロナウイルス拡大の影響で、委員会は中止となったものの個別面談等の評価で、ほぼ前年度並の評価を得た。

○学校関係者の評価は、良好であり、本校の教育活動が妥当なものであると考える。

○学校関係者の行事への参加や会議での話し合い、資料等が中心の評価であり、常時見て評価していただける体制を構築する必要がある。

(4) 学校関係者評価委員の本校に対するご意見・ご要望

- ・通学路での挨拶や校門での礼が徹底されており好感が持てる。
- ・コロナの影響で、須磨海浜公園近辺や須磨海岸での清掃活動等のボランティア活動はできなかったが、来年度に期待する。
- ・コロナ禍での時差登校等、感染を拡大させないという取り組みが評価できる
- ・自分から積極的に行動できるような女性の育成を更に推し進めて欲しい。
- ・教員が毎日のように通学路に立ち、通学指導をしていることは、評価できる。地域の防犯にも貢献している。